
メ～テレが日本民間放送連盟賞にて
「テレビドラマ番組」「放送と公共性」部門でダブル受賞！

平成 26 年日本民間放送連盟賞(主催:日本民間放送連盟)で、メ～テレが制作した『名古屋行き最終列車』と、『報道キャンペーン「暮らしの防災」と、防災・減災を伝える放送外活動』が、優秀賞に選ばれました。「テレビドラマ番組」での受賞は3回目、「放送と公共性」での受賞は初めてです。

【受賞】番組部門(テレビドラマ番組) 優秀賞

『名古屋行き最終列車』 2014/3/20(木)2:14～2:57

【内容】名古屋鉄道の最終列車を舞台に起きる様々なできごとを、コメディタッチかつ人情味豊かに描いたドラマ。受賞作は2014年に放送した第2シーズンの第4話で、鉄道会社社員の男性と母娘のふれあいを描いた物語。出演は六角精児、鶴田真由、谷花音ほか。

【講評】普段、余り気がつくことがない生きていることの意義や価値、人を愛することの意味などを、30分という短い時間の中であらためて教えてくれる。さまざまな喜怒哀楽と共に人間の本質を分かりやすく描いた作品になっている。

なおメ～テレでは、『名古屋行き最終列車』第3弾の制作を決定しました。(放送時期は未定)
また、今回の受賞作品『名古屋行き最終列車』を10/18(土)3:37～4:12に再放送する予定です。

【受賞】特別表彰部門(放送と公共性) 優秀賞

『報道キャンペーン「暮らしの防災」と、防災・減災を伝える放送外活動』

【内容】地域住民が、日々の暮らしの作業の中に「防災・減災活動」を取り込むことをテーマにしたニュース企画「暮らしの防災」を、ニュース情報番組「UP！」(月～金 18:15～18:56)にて、2012年から約70回放送。同時に番組スタッフによる地域での「防災講座」や、災害体験の伝承を目的とした、アナウンサーによる「防災絵本」の朗読会を行った。

【講評】放送局が「巨大地震は起きる、という前提に立ち、住民による防災の必要性を具体的に訴え続けていること、多岐にわたる地域に密着した放送外活動が評価された。

日本民間放送連盟賞は、番組、CM、放送技術の向上と、放送活動のより一層の発展を図ることを目的に、日本民間放送連盟(民放連)が1953(昭和28)年に創設した賞です。毎年1回実施し、優れた番組、優秀と認められた事績を顕彰しています。

この件についてのお問合せ) メ～テレ(名古屋テレビ放送)広報部 那須・浅沼 052-322-7108

《参考資料》

平成 26 年日本民間放送連盟賞 審査結果

番組部門(テレビドラマ番組)

最優秀賞	『Woman』	日本テレビ放送網
優秀賞	『名古屋行き最終列車』	名古屋テレビ放送
優秀賞	『半沢直樹』	TBS テレビ
優秀賞	『テレビ朝日開局 55 周年記念 山田太一ドラマスペシャル 「時は立ちどまらない」』	テレビ朝日
優秀賞	『ドラマ W チキンレース』	WOWOW
優秀賞	『めんたいぴりり』	テレビ西日本

表彰は、11月5日に東京にて開催される「第62回民間放送全国大会」の式典席上で行われます。

※番組部門(テレビドラマ番組)におけるメ～テレの過去の受賞歴

1997年(平成9年) 最優秀賞
『開局 35 周年記念番組 「劇的紀行 深夜特急'96～熱風アジア編～」』

2002年(平成14年) 優秀賞
『名古屋テレビ開局 40 周年記念 「SABU～さぶ～」』

※メ～テレ Web サイト

「名古屋行き最終列車」 http://www.nagoyatv.com/nagoya_saishu2/
「暮らしの防災」 <http://www.nagoyatv.com/up/bousai/>

以上